

**1 みんなでつくる避難所プロジェクト事業 61件**

- ・家族に障害者がいます。福祉避難所を充実させるために早急に整備して欲しい。
  - ・子供と避難するのに、不安がたくさんあります。避難期間が長くなれば、長くなるほど、問題も多くなってきます。その不安をひとつでも取り除ける避難所づくりをお願いしたいです。
  - ・避難所をテーマに子どものことを考えることで、日常でも子育てしやすい三重県になれると嬉しいです。
  - ・この事業により、避難所生活の具体的なイメージを県民が持てるようになったり、避難所生活のクオリティが向上することは、本県の防災にとってたいへん意義深いことと思います。
  - ・防災事業が第1です。
  - ・東海地震、南海トラフと警告がありながらなんの備えも出来てないので、各地の被害がヒトゴトではありませんよね。
  - ・娘が知的にも身体にも重度の障害児です。もし、災害にあった時、避難所はどこへ行けば良いか。自力では行けないので、心配です。以前住んでいた東京では消防から障害児がいるかどうかの確認のお手紙が来ていざという時に何かと安心でした。しかし、三重県からは何のお知らせもなく。障害者の把握やサポートがなさそうで、不安です。
  - ・避難所の運営は行政ではなく、地域住民が担うべきと認識しているが、その認識が広く普及していないように思われるので、避難所に対する意識の啓発事業の一環として実施してもらいたい。
  - ・新聞で日本の避難所は学校体育館に雑魚寝など戦前から変わっていないと掲載されていました。海外ではテントなどを利用して避難生活であってもより快適に過ごせるよう考えられているようです。津波の際、沿岸部は避難所の確保も大きな課題だと思いますし仮設住宅を建てる土地の確保も難しいのではと思います。少しでも過ごしやすい避難所を設営するために予算を使っていただきたいと思います。
  - ・1のプロジェクトについては、避難所の環境充実に特に重点を置いて欲しい。
  - ・避難所の在り方を考えるのにはよいことだと思います。
- そして、同時にもっと教職員への教育を進めていただきたいと思います。防災活動で、小中学校に出入りしていますが、先生間のレベルの差が開きすぎています。未来の大人である子供たちへの投資を惜しまないで頑張ってくださいと思います。
- ・防災に関する取組みは、公助ではなく自助が基本となることを広く県民に周知することが大事だと思います。
  - ・災害の種類によって、こういった避難行動をとればよいか分かるような情報発信をして欲しい。子どもたちには、体験だけでなく演劇のような形で見せるのも、効果があると思います。
  - ・避難所に行く前の、家庭の防災（家具固定、備蓄、避難路確認）も重要です。地震・津波や台風（高潮）の知識とともに、避難行動も避難所生活も一連の行動として取り組んで欲しいです。
  - ・避難所運営は避難者自らが行う必要があることを知ってもらう必要がある。
  - ・1について、VRキットの開発も入れた方が良いでしょう。
  - ・1について、東海豪雨や東日本震災を経験しました。防災そして被災後の生活に関心あります。物資不足と計画停電には参りました。職場(地元出身者)では、地震や震災に殆ど関心が無い様子。他人事のように捉える人が多い印象があります。
  - ・1.の事業が採択されましたら、是非、障害を持つ子どものいる家族や外国人など一般の方よりもう一

歩踏み込んだ配慮が必要なところも議論に含めていただきたいと思います。

- ・防災力向上と県の魅力発信を併行して進めて頂くことを期待しています。
  - ・近年自然災害が多く発生していることから、日常生活を守る防災関係への予算事業を選定しました。
  - ・1、是非とも、参加させていただきたいと思います。
  - ・実家が尾鷲ですが、防災の取り組みが進んでいないと感じます。南海トラフ地震に備え住民への啓発活動を進めるための予算確保をお願いします。
  - ・災害はいつ発生するかわからないので、命を守る最低の防災準備をする必要があるが個人によりかなり隔たりがある。行政のほうでガイドラインを立てて県民に周知してはどうか。
  - ・東海、東南海大地震に備えて有事の対策。
  - ・体験ゲームの開発にコストを使うぐらいなら本当に災害が起き避難所生活になった場合安心して生活できるよう食料の確保や生活の保障など実践的な使い方をしてほしい。
  - ・災害はいつ、どこでも発生する可能性があることから、避難所生活を少しでも快適に過ごせる企画に賛成します。
  - ・また、大地震が予想されているこの地域ですので、自分の問題として学んでいきたいから、選びました。
  - ・いつ災害が訪れても準備万端にすることが必要です。
  - ・高齢化率も非常に高くなり、災害に対しての備えはとても大切な時期に来てると思います。県民がより良い生活を過ごせる社会であって欲しいものです。
  - ・過疎地の介護施設における避難命令等発令時の対応について。夜間発令時の避難対応について。現状の認識がまだまだされていないと思います。
  - ・学校での避難訓練1ヶ月には1回した方がよい。実際に高台まで駆け足で上がる訓練や、どのくらいの時間がかかるのか。避難訓練で大事なものは、人との繋がりだと思うので、大きな訓練時には地域住民も巻き込んで行うのがよいと思います。顔見知りになるのにも、良い機会だと思います。
  - ・「みんなでつくる」がとても大切なことだと思います！
  - ・これからは、避難することの重要性とともに、避難所の内容の充実が重要になってくると思います。
  - ・災害が多発する状況から、1避難所の整備が急務と考えます。
  - ・2011年9月 紀伊半島大水害が、紀宝町に甚大な被害をもたらしました。私達の地区は、110世帯の内約70%が、床上浸水に2昼夜、一人死亡の被害を受けました。この経験を生かして、2012年4月 津本地区自主防災会の発足。 住民が避難所を欲しい、と訴えるとともに、防災訓練に励んで来ました。
  - 2013年3月 津本防災センターが建設されました。しかし、防災センターの電気料金の維持費や、防災訓練の費用は、住民から1000円の会費、合計11万円では、とてもギリギリの状態でした。住民全員が、町所有の草刈りをして、活動費用を稼ぎました。それでも、草刈り保険費を支払うと、少ししか手元に入りません。住民は、この草刈りも、防災訓練の内・・・と言って、皆様は一生懸命やってくれます。防災センターが出来た後、2015年7月、台風10号では住民が、いち早く避難所に避難しました。外国人や子育ての若い母親達、高齢者、避難所に入るのがいやで、車の中で過ごす人達、様々でした。避難者にアンケートを取ると、お乳を飲まずのに、部屋の隅っこで背中にバスタオルを巻いて、飲ましていた。おむつを替える時、臭いを気にしながら、トイレの前で、交換していた。隣近所知っている人ばかりですが、やはり、気を使う。 等々
- このアンケートに基づいて、避難所生活は、女性の目線で動かないと、前に進まない。と言う事で、部屋

の仕切りに、カーテン（カーテンにお乳を飲ませている刺繍と、おむつ交換している刺繍）を取り付け、若いお母さんや障害者の方たちにも、安心して避難が出来る場所を確保しました。

2019年9月4日 台風21号は、強風で関西空港が水浸しの被害を受けた台風は、この紀南地方でも強風に見舞われました。この強風の中、小さな子供4人連れの妊婦のお母さんは、津本防災センターに避難して来ました。しかし、トイレの水が出なかった為、この強風の中、自宅に戻り（自宅は、2011年9月台風で屋根まで2昼夜浸かりました）子供達にトイレを済ませて、高台の友達の家の駐車場で過ごし、車があおられるので、怖かった。と供述していました。この事をあとで知り、悪かったな・・・と後悔しました。防災センターの水は、山水を引いていたので、災害が起これば、山水は断水します。この訴えを紀宝町に申し出ると、水道は引いてくれましたが、水道料金は津本防災会が、毎月支払いしています。防災センターには、テレビが置かれていますが、映りません。避難してきた高齢者は、「今、台風はどのあたりかな?」「相野谷川は、どこまで浸かって来ているのか?」と避難所においても心配で、たまりません。テレビの受信を紀宝町役場に言っても、聴いてもらえず、ZTVに相談すると、約60万円かかります。との事。私達の地区は、昔から台風が上陸。といえば紀伊半島、ここに住んでいます。避難所が出来ても、安心して避難が出来る。そういう状態に持っていかないと、ただ箱物を作っただけでは、避難してくる人は、安心できません。今年の防災活動目標は、若い世代を育てて行く。孫と一緒に防災活動!!を合言葉に。平成27年度 みえの防災奨励賞、平成31年度 三重ボランティア基金に応募して、テント6張り購入、令和元年度 みえの防災特別賞

テーマ1の避難行動の促進の取り組み内容、是非、津本防災センターでも行ってほしいです。

- ・他人事ではない。（三重県も何年後、何十年後には）
- ・日常生活の中で災害時にも特別な生活という意識なしに生活できる環境体験ができれば。
- ・子育て世代だけでなく、高齢者や障がい者等を含めた避難所づくりについても一緒に考えてほしい。
- ・不安である避難所での生活を少しでも安心できる環境にしたいので。
- ・避難所に対する理解を深め、命を守る行動がとりやすいようにすることは最重要だと感じる。三重の住みよい町づくりや活性化に繋げてほしい。
- ・いつ起こるかかわからない災害に対して、避難所について知る機会となればよいと思う。
- ・1944年の東南海地震から75年、というニュースがありました。都市部は今夏の台風の折、避難所に人がいっぱい入りきれなかった、計画運休の連絡が行き届かなかった…など、まだまだ細部まで防災がいきわたらないことがわかりました。こちらも避難所は決まっていますが、果たして備蓄や人数はどうなっているのが…。知りません。知りたいと思います
- ・災害の際に、絶対助かるシェルターを作ってほしい。
- ・高齢化に伴い、災害時の避難場所の快適化が必要である。
- ・防災意識向上につとめていただきたいから。
- ・水害発生時、既存の避難所が使えなくなる事例が各地で起きている。三重県でそういう事例が起きるのを防ぐ為に、避難所設定の見直しや既存避難所の改修工事を検討するべきと考える。
- ・各市町のみならず県との連携をとりながら進めて被害を最小限にしたい。
- ・避難所、非難する過程など、市や町との連携を密にしてほしい。県立高校が避難所にできないのでしょうか？
- ・みんなでつくる避難所プロジェクト事業～「みんな」ではなくてまずは県政でそして市政から町政へと落とし込んでやるのが1つのチームでは？地元の住民の声を聴きそれを早く上の組織に上げて実行する

のが「お役人」の仕事では？

・1の避難所プロジェクトは、災害がいつ起こってもおかしくない状況なので最優先してほしい事業と感じた。

・津波対策のために高台をつくってほしい。

・南海トラフ地震を見据えた防災立県が喫緊の課題

・地震・豪雨災害などで、避難所の在り方・運営の仕方などは今後一層重要な情報となる。

・南海トラフ危機が叫ばれている昨今、南勢部の取り組みと北勢部の取り組みにはかなりの乖離がある。北勢地域に住むが、コンビナート群の安全性とかあまり耳にしたことがなく、不安、東日本大震災の千葉県例もある。

・大震災の恐怖

・災害が起こった際の避難場所といえば、学校の体育館が使用されているのが、ほとんどであると思います。

体育館で使用の材料はフローリング材であり、テレビ等を見ている、食事が満足にできない、寝れない、プライバシー保護に欠ける等の問題があるようであり、これらを解決することは難しいとは思いますが、行政が動かないことには前進もできないので、専門のご意見を聞くなりして進めて行ってもらいたいと考えます。

・いつ来てもおかしくない東南海地震や様々な災害に備えた避難所をみんなで作ることで周知されていくと思う。

・島国である日本は津波や地震による災害が沢山おこっている。避難所は、必要不可欠だと思います。なので、避難所プロジェクト事業を進めてほしいです。

・南海トラフ地震の発生確率の高い地域なので現在の避難所の在り方、場所も含めて広く検討してほしい。

・予測された大型地震に備えた活動は行うべきであるため、海に近い地域に住んでいるため特に津波対策として避難所は気になる。

・プライバシーのない長期の集団生活に対してストレスの対応

## **2 ～命を守る、命をつなぐ～三重県ペット防災事業 39件**

・日本は、災害大国になり、ペットがいるから避難しない、ペットがいる事で頑張れる、など家族と同じです。ペット所有率が高い三重県もいち早くペットと同伴避難できる整備を整えて欲しい。

・ペットとの同行避難の意識が向上しますように！

・ペットの防災については、特に「吠えない」「噛みつかない」などを徹底してもらえればいつでもどこでもみんなが社会として受け入れ可能になると思っております。海外のようにそんな犬が増えるような活動にも繋がれたらいいですね。

・あすまいるを基幹とし、獣医師会や保健所と連携し、各種ボランティア団体と各市町や自治組織の役割分担などをまとめる組織の確立、獣医師会のVMAT 確立補助支援

・2において避難所でのペットの受け入れ等の対策なども考えていただければ。

・今ペットはいませんが、災害のときに、ペットを家に置き去りにするほど胸が苦しいことはありません。特にひとり暮らしの方は、大変さみしい思いをすることになります。ペット救う施策を応援したいと思います。

・犬を飼っています。最近になって防災マップで、自宅が浸水2メートル地域と知りました。啓蒙や活動

が必要だと思います。

- ・諸外国にも負けない動物愛護・福祉事業に腰を据えて取り組んでもらいたい。
- ・単純に、ペット問題に関心があるため選びました
- ・ペット用スペースとか個室みたいなのがあればいいと思う
- ・災害の際のペット支援や広報活動は必要。現に何かあった時に家のペットをどうしたら良いか（どうするか）、未だ良く分からない現状だから。
- ・犬猫以外にも小鳥やうさぎなど小動物の避難について考えてほしい。避難所利用の可否やエサなど。
- ・ペット連れの受入可能な避難所の拡充は、ペットを飼っている身としてはとてもありがたいです。ペットが苦手な方にも配慮した避難所作りも併せてお願いしたいです。また、災害により迷子になってしまったペットの受け入れや情報提供等のシステムを作っていただけると飼い主は安心です。
- ・災害時には人はもちろん家族であるペットの命も守る意識と仕組みが必要である。
- ・個人的に動物ボランティアをしています。ペットショップでの生体販売を厳しく（最終的にはなくす）し、飼育放棄された子たちを受け入れられる施設を整えたいと思っています。
- ・動画にはあまりお金をかけず、ペットと飼い主、ペットを飼っていない人も参加できる、危機感を感じられるような避難訓練を実施してほしい。
- ・ここ数年の災害で避難している人を、見てペットを飼っている人の、肩身の、狭さを感じたから。ペットを飼っている人はペットも大切な、家族ですが、嫌な人が、いるのも事実で、そういう事を考えての避難が可能ならお互いが安心できると思います。ペットがいるだけで、気持ちが楽になったり、避難所生活が少しでも苦しいものでなくなる事を考えたいと思っています。
- ・やはり巨大地震が来ると言われているのでペットとの避難は大きな課題だと思います。自分はペットが居るのでとても必要だと感じていますが、反面アレルギーを持っている方や様々理由で動物苦手な方が居るのも分かります。難しい課題ですが、早急に対策をして頂きたいです。
- ・ペットも大切な家族です。その家族であるペットを普通に避難所に連れてこれる環境を整えることが大事だと思います。
- ・2、是非とも、参加させていただきたいと思います。
- ・必要だと感じたから。
- ・ペットも家族だから災害時には心配。
- ・動物も家族です。災害の時に一緒にいられないのは辛いと思います。大切な命なので置いてけません。
- ・2の「ペット防災事業」は、人口の多い地域（北中部）だけでなく、山間部や南部での取り組みを特にお願いします。
- ・災害時ペットの命を守るためペット防災事業を充実させてください。
- ・ペットにやさしい街づくりをして頂けるとすごく嬉しいです。
- ・今年の千葉の台風で聞いたお話ですがペット可と聞いていた避難所に行くとペットはダメです、と言われ避難できなかった話を聞きました。人間だけに対する安全な避難所をつくり動物の命の価値を軽視し、凄く残念でした。三重ではこんなことが無いようにしていただきたいです。
- ・災害時のペット避難所について、広報や動物病院などにパンフレットとして置いたり掲載して欲しい
- ・昨年市役所に確認したところ、ペットと一緒に避難してくださいとだけで、具体的な回答をいただけず不安に思っていました。早急に具体案を。
- ・1と2の事業について、ペットと一緒に同行避難できる避難所を各地に増やして欲しいです。

- ・ペットの避難所運営に関し町の意識が低く、設置マニュアルの作成すらされていない。また避難所で快適に過ごすために普段の「躰」の知識(散歩で排泄を習慣化させない等)の普及など、専門家と連携してすすめてほしい
- ・ペットの避難所を作って欲しい。自分たちの住んでいる近くに。
- ・ペット同伴での避難が出来ると助かる事を諦めない人が増えると思います。
- ・2匹の愛犬と暮らし、災害時にどのように避難するかを思案していました。避難所に一緒にとは、イメージができず、家に留まるしかないと考えていたところです。小さな命への向き合い方は、結果的にこの国に生きる人々の命への向き合い方がわかるとも言われ、大切な視点だと思しますので、事業に大賛成です。
- ・正しく知ることによって早期に対応可
- ・家で犬を飼っているのでイベント等は気になりました。
- ・ペットも家族の一員です。問題が起きた時に後回しになることを今のうちに整備できれば早期に解決できることだと思う。
- ・家にはペットが2匹います。災害の時一緒に避難できる避難所を増やして欲しい。
- ・今後の大地震に備えるため。

### **3 がん検診受診率向上に向けた民間企業等とのパートナーシップ事業 8件**

- ・会社のガン検診で、助かりました。
- ・がん検診の啓発活動によって、企業が従業員の健康に向き合うきっかけになると感じました。がんを早期発見することができれば、治療を受けながら仕事を続けることが可能となります。この事業を通じて、受診率が上がるだけでなく、三重県で働く人にとって、信頼し安心できる職場が増えることを願っています。
- ・事業番号3について、取組事例の紹介だけではなく、優良事例については表彰（知事賞、県内市町首長賞など）を実施してはいかがでしょうか？
- ・まだまだ自分の事とは思えない「がん」の病気。日頃からのケアがとても大切なのだと思います。もっと、検診の大切さを理解するべきだと思います。
- ・100年時代と言われているが、がんによる死亡が目立つ。やはり検診して関心を向上していきたい。むやみにお金をかけることは避けたい。
- ・強いてえらべばこれでした。
- ・がん検診受診率NO.1から、健康意識の高い県としてアピールし、さらに健康にいい食品のアピール、健康食品の加工食品などの開発をしてほしい。
- ・各企業で行う健康診断でがん検診を入れて欲しいと思っています。

### **4 みえのささえびと事業 6件**

- ・この事業により、介護職の魅力が発信され、介護職の人気の高まることを期待します。
- ・ウェブサイトに掲載するだけでなく、学校を訪問して講演して、これから仕事に就く世代に向けて、その魅力を発信してほしい。
- ・父母や叔母のお世話をしてくださった介護職の方にスポットがあたり、今後のはげみとしていただければ良い事です。いずれ私も支援を受ける立場なら。

- ・介護現場の人手不足解消と見合っていない職員への報酬の増額。不透明な生活保護金の運用。福祉面が不透明
- ・介護職に内定しています。何か広い眼を持って将来を見つめながら仕事に携わりたいと思っています。
- ・介護職について様々な方に知っていただきたい

## **5 プロフェッショナルと行くみえ旅！育児男子の子育て日記プロジェクト事業 19件**

- ・5. 雑誌やネットの充実等もある。積極性に欠けると参加は少ないと思う。
- ・5. 父親の子育て参加のためのバス旅行について、私は主人に先立たれてシングルマザーで子育てしています。その他にも事情がありシングルで子育ての方は沢山います。このバスツアーは参加できる人に限りがあり、極めて対象が狭いのに 860 万円もの予算が割かれることは絶対におかしいと思います。他の予算案は対象が限定されているものではないので、なぜこの5を20の候補の中を選んだのか疑問を感じます。
- ・少子高齢化が進む現代において、親子の繋がりはとても大切だと思います。このプロジェクトから関わりが継続できる様な取り組みをお願い致します。
- ・5 については特に素敵な事業だと思いました。育児男子という言葉はあるものの、実際に仕事と家庭の両立ができていない男の人も多いと思います。そういった人のいいきっかけ作りになる事業だなと思いました。
- ・子育てスイッチの入りにくい父親の育児参画を無理なく楽しく導いてもらえるようなぜひチャレンジしてもらいたい事業だと思います。この機会をきっかけにパパ同士の繋がりや子育てについて考えることができれば嬉しいですね！応援したいと思いました。
- ・父子ツアーにて、貸切バスだけでなく、公共交通機関の利用を希望します。
- ・パパが楽しんで育児に参画することで家庭みんなが笑顔になりますよね。ママも安心して暮らせます。地域のみみんなも子育てに協力していただける社会になるように願っています。
- ・子どもを生み育てるのは大変だと思います。そういった事業に光が当たればいいなと思っています。特に男性育児というのは、私が子育てしていた頃にはない事でしたので、応援したいと思い投票をしました。
- ・父親が休みの日は育児ではなくゲームをしている人が多い中、父親に育児の必要性を説く機会が必要。
- ・5番。でもその前に、働き方改革と、男女間の意識のすり合わせが必要かもしれません。
- ・父親として男性育児の取組は応援したい。
- ・2人の子を育てています。父親がより子育てしやすい環境を作ってもらいたいです。
- ・シングルファーザーとして育児をしています。色々な環境の父親がいます。多様な内容の子育て支援を期待しています。
- ・普段なかなか娘の育児に関われないのできっかけとして面白いと思った。
- ・会社が男性の育児を応援するようになってほしい。保育園の無償化は助かっています。
- ・もっとパパが育児の当事者として自覚を持って欲しい。
- ・いろいろな活動をとおして、父親の育児参加を促してほしい。
- ・父親と一緒にバスツアーは楽しそう。小学生に県の子ども条例を知り、権利について考えてほしい。
- ・育児男子の支援の充実

## **6 みん・聞くキャラバン事業 12件**

- ・県外へ子供達を出している親としてこれから大きくなっていく子供を持つ親として若い世代に魅力ある街づくりはとても頼もしい案です。是非進めて行って欲しい案であると思います。
- ・「若者のリアルなニーズ」という部分に惹かれました。SNSは大人がいくら学んでも、十分に使いこなしているのは良くも悪くも若者です。「若者に見てもらおう」ことを目的にするなら、同じ目線である若者に作ってもらおう」という方針に賛同します。
- ・若者が頑張れる魅力ある県であってほしいです。
- ・私自身、進学と就職で一度三重を出た身ですが転職を機に戻ってきました。鳥羽は人口流失、少子高齢化が深刻です。地元で安心して生活し、子どもを育てられる環境、制度の実施をお願いします。
- ・次世代を担う子供達、若者の支援に必要であると感じた。
- ・若者支援、特に県内就業等に関する政策の拡充をお願いします。
- ・若者へ事業、政策を手厚くして欲しいです。よろしくお願い致します。
- ・若者が三重の未来に夢を描けることが大切です。
- ・主たる目的から外れたら三重県を絶対に許しておかない。
- ・若者、とくに中高生の意見を聞くことが、これからの地域づくりには欠かせないと思います。
- ・3つ選択なので、選びましたが、6、の内容がよくわかりません。
- ・おもしろそう。地域活性化に取り組みたい若者はいると思う（大学でそういうことに取り組んでいた、等）うまく発掘して、各地の地域づくりのプロにつなげてほしい。

## **7 「子ども条例ってなあに？」PR 動画制作事業 15件**

- ・小2の娘がいますが、去年小1にして学級崩壊しました。暴力を振るう児童が数人、彼らは大人とうまく関係を築けない様子でした。困ったことを相談できるスキルがないようでした。こどもの権利。今一度、大人も子どもも、しっかりと考えるべきだと思った出来事でした。子どもは知る権利を持っています。しかし大人が知らせる義務を果たしてない。プロジェクト成功を切に願います。
- ・子どもは地域の宝物。子ども食堂を開設しているので、子ども支援がやはり気になります。
- ・子どもに合わせた学びの場が必要だと思う。みんな一緒に学びをすることが苦しい場合も、フリースクールを無料で利用できる環境やホームクラーの家庭にも支援を欲しい。
- いじめ防止、虐待防止、不登校児の悩みを解決するには、家族支援が必要だと思います。一人一人カウンセラーと繋がるあたり前の環境が欲しいです。
- ・未来ある子どもたちに、一人一人がしあわせに生きてほしい。子どもたちだけではなく、親も大人も一緒に生き方を学んでほしくて、その事をみんなに伝えてほしい、みんなで学ぶ機会を平等に与えてほしい、皆様の活動を支持したいです。
- ・三重県の未来を託す子供達の多くは、自分達の権利について知らない子が多い。そして子供達を取り巻く大人達も同様に知らない場合が多い。その弊害で子供達への虐待や生きづらさが生じている。そのためにも子ども条例について大人も子供も知ってもらわなければならないと思います。
- ・子どもが、自分には「権利がある」と知っていることは、自分の置かれた状況が、困難、苦しいなどの時に、自ら解決する力を育てることになる。それは自己肯定感を壊されることから自分を守る、自立への一歩となると考えます。
- ・これからの三重の未来を担う子どもたちが権利について考える機会を持つことはとても大事で、人を思



いや暮らしやすい三重をつくっていくには今必要不可欠な事業と考えます。

- ・次世代を担う子どもたちが守られ育てられる環境を創ることは今の時代を生きる大人の第一義的な責務だと思います。是非とも事業化していただきたい。
- ・子どもたちが、自分にある権利を知ることは大切なことです。虐待されても「自分が悪いから」と思わないよう、なるべく小さなうちから知らせていきたい。
- ・内容によりけりですが、必要と感じます。
- ・子どもの権利保障を具現化するために、子ども条例の普及啓発を切に希望します。
- ・ますます子どもが生きにくい社会になっていると感じています。子ども条例ができてよしとは思いますが、できる過程も通して周りの大人が考えていくきっかけになればと思います。
- ・子どもが意思決定できますように。
- ・子どもが主体的に生きていく、きっかけとなり不登校や虐待問題にもつなげていってほしい。
- ・子供は宝なので、子供条例等、勉強したい。

## **8 Let's Think 消費生活！ 事業 ～Smart な消費者になろう～ 10件**

- ・ちょうど子どもが対象年齢で、高校生 3 年生時に学校や家庭でどれだけ情報を伝えられるか不安です。このような事業があれば安心です。
- ・最近では決済の方法でも色々な手段が増えており、正直ついて行けていない。リスクもありそうなので勉強するべき。
- ・県民、皆消費者でもあるので。
- ・学校ではあまり習わない税金や社会保障制度、ローンの仕組み（リボ含む）なども学べる場であるといいなと思います。また、高校生や大学生だけでなく、公立の小中学校でも発信ができれば様々な家庭の子への啓発ができます。リボなどに嵌る人というのは一部の無知な人に限られるように思います。子供のころから利息の仕組みなど学べたらと常々思っています。
- ・消費だけでなく、簡単な投資の話とか聞けると良い気もします。
- ・消費に関しては『買い物は投票』だと思っています。藤原ひろのぶさんのポスターなどを三重で積極的に広めてほしいです。買い物の仕方を変えればゴミが減り環境を守り、さらに健康度もあがり医療費は削減できます。病気の予防に繋がるのでもっとみんなに身近な消費について関心を持ってほしい。
- ・高校生の子どもがいます。しっかりしているようでも、まだまだ社会に怖い面がある事を知りません。トラブルに巻き込まれてないように「知る機会」があるといいなと思います。
- ・成年年齢引き下げに伴う若者の消費者被害を減らすためにも、積極的な啓発活動等が必要です。この事業が採択されることを望みます。
- ・消費者被害が多発する現在、早い段階から若者に対する啓発を行っておくことは、彼らが年を重ねていく先にも続いていく、事前の備えとして良いと思う。近い世代の子供を持つ親としても必要な対策だと思う。
- ・池上彰さんのような方が授業をするとわかりやすいだろうと思いますが、そんな方がたくさんいるわけでは無いので、より効率的に啓発するためには良い方法だと思います。同世代の目線で、どのように伝えたら響くか等考えることが、お互い勉強になると思います。

## 9 子どもたちのインターネットトラブル防止事業 24件

- ・9 子どものネットトラブルは、増えていて犯罪に利用されることも多い。子どもを守るために、是非予算化を。
- ・大学生等というところで、高校生も主体的に巻き込んでいくことを希望します。
- ・子供たちがインターネットや SNS でトラブルに巻き込まれる事件が多く、恐ろしく感じています。防止策を大人も子供もまず知ることが大切と考えます。
- ・子どもたちのインターネットトラブルを予防するためには、保護者のインターネット、パソコンに関する理解を高めてもらう必要があります。保護者が「私はわからないから」と逃げ腰になっている人が結構多いと思います。No.8 と絡めるなどして、保護者のインターネット教育も合わせてできるようご検討願います。
- ・子供の自由時間、勉強の機会が失われているのでは。
- ・年齢の近い人に教えてもらうほうがわかりやすいと思うから。
- ・何処かの大学のお偉い教授とかが来ても親近感が湧かない。
- ・インターネットトラブルには、ネットいじめやヘイトスピーチなど解決に人権感覚が問われるものがあります。人権部局と連携して取り組んでいただきたいと思います。よろしくおねがいします。
- ・子供の SNS による事件が身近にあるから。
- ・子どものインターネットトラブルは親として心配。
- ・インターネットを利用した犯罪に子供たちが巻き込まれないよう未然に防いでいただきたく投票いたしました。
- ・低年齢によるスマートフォンの使用率が高まってきた社会。正しい使い方を伝えていかねばと思う。
- ・こどものインターネットトラブルについて、非常に関心をもっています。少し前に人権センターで行われた、いじめ防止サミットへ参加しました。我が子は小学生でしたが、中学生、高校生、大人と一緒に問題について討論する機会を持つことができ、勉強になりました。小学生、中学生、高校生が共に意見交換し学べる機会をもっと市町村単位で増やしてほしいと思いました。
- ・これからの未来を支えてくれる子供達に手厚い援助を強く望みます それと同時に育てていく母親達にも手厚く、優しい援助を望みます。
- ・子供たちに対する SNS の規制
- ・今も発生している事件をこれ以上増やしたくない。親も含めもっともっと啓発の必要がある。
- ・インターネットトラブルは、これからも増えると思いますので携帯への規制を強化してほしいです。
- ・子供に教育する前に大人への教育も必要。知らな過ぎて危険。詐欺に合うのも知らなすぎる大人だからであって、子供とは別に周知すべき。
- ・SNS を通じて、大人が女兒誘拐をするような犯罪が起きない対策をしてほしい。
- ・インターネットを通じてのトラブルが問題になっており、事件にもなったりしています。しかし、インターネットは生活や社会において、なくてはならないものです。子どもたちにとっては、生まれた時から当たり前にあるものです。一概に「使ってはいけない」とするより、どのように使うか、マナーやモラルを正しく教えていくことが大切だと思います。
- ・SNS などを使うことで、犯罪に巻き込まれる事件があまりに多い。実際にこんな被害がある…など、具体的に子供達に説明をしてもらい、身近な問題であること、自分にも起こり得る問題であるという現実を分かって欲しい。

- ・近年スマートフォンの普及に伴い、インターネットを使い始める年齢が若くなっているため、年齢に応じたメディアリテラシー教育が必要である。また、子供同士のトラブルとしていじめにつながる場合が考えられるため、対策が必要。
- ・小学生などが twitter など事件に巻き込まれることが増えてきているので、危ないというのをしっかり伝えられるようにするとよいと思う。
- ・子供のインターネットトラブル例を公開してください。

## **10 みえの宝！子ども見守り活動応援プロジェクト 23件**

- ・親としては、子供の登下校時はとても心配なので、非常に良い案件だと思います。
  - ・元気な大人は働くのが一般的となっている現代では、住宅街の昼間は人目がなくいつも不安なのでこういう取り組みは応援したいです。通学路には狭い道もあるので、そういう場所もカバーできる何かがあると尚良いと思います。
  - ・子供が安全に生活できればと思います。
  - ・これからの三重を背負って行く子供たちへの安心安全確保。その他防犯にも効果が期待できると思います。
  - ・子どもの登下校時の状況を子ども・親に見せ反省点がないか点検できる。
  - ・どれも大事な活動ですが、子育て親としては、何かあってからでは遅い！ので、プラスアルファよりもまずはマイナスを防ぐ活動に応募させていただきたいと思い10番にしました。
  - ・特に10番を支持します。
  - ・未来の宝、子どもを守り育てていくために予算使って欲しいです。
  - ・子どもが被害者になる事案の抑止効果となる。
  - ・地域の安心安全を守るために役立ててほしい。
  - ・10番は特に応援しております。
  - ・青に照らされたい。
  - ・中学生の頃、私と待ち合いをしていた友達が不審者の被害に遭い、そこからしばらく私の町で青いパトカーが走っていた姿を見て、すごく安心したのを覚えています。そういった安心をより多くの子ども、街の人に感じて欲しいです。
  - ・これは絶対に必要な事業です、今年も悲惨な事件のニュースをたくさん見ました。是非もっとお金をかけて実施していただきたい。
  - ・ボランティア＝高齢者という考えが失礼かもしれませんが、車の扱いが心配です。止まってのパトロールなら、歩いて児童と登下校の方が安心です。でも、見守り隊の方たちには感謝しかありません。
  - ・不審者案件で問題になるのは、発生時刻の精度の低さである。子供が自宅に帰って保護者に伝えて初めて発覚するため、正確な発生時刻がつかめない。正確な発生時刻がつかめなければ、犯人の映像が写っているかどうかの確認時間も非常に長くなってしまふ。しかしドライブレコーダーに被害者が写っていれば、歩く速さ等から発生時間が割り出せる。
- ただし正確な発生時間を割り出すためにはドライブレコーダーの動画に正確な時間が記録されているもしくは、あとから時差を補正する必要がある。補正ができれば例えば三重交通のバスやタクシー等の映像情報を取り寄せて更に情報を収集できる。
- 時差を認識するには大きく時刻を表示できる時計（電波時計がいい）を直接ドライブレコーダーで撮影す

ることで、動画の表示時間が実際の時間と何秒ずれているかが把握可能なのでこういった時計も貸与するか各警察署で所有したらどうか。他の犯罪発生時の捜査にも有効だと思う。(GPS 内蔵のドライブレコーダの場合、GPS の正確な時刻が自動的に設定されるものもあるので、機能検証をして機器の選定をすべき) また GPS 発信機等より安価で小さく電波の飛ぶビーコン (Tile など) を子供に持たせることは、誘拐発生時の追跡・探索に効果があるが、その電波を拾う機器をみまもり車両に搭載することも有効ではないか。(スマホアプリで可能) (ただしビーコンは暗号化しないと不審者に子供の接近を知らせることにもなるため、工夫が必要)

- ・子どもたちが安全に生活できるようにしてほしい。
- ・子どもたちを見守って頂く、ボランティアさんの存在は大変ありがたいので、大事にしていきたい。
- ・子供が一番大事である事、子供を育てる事を基本にすれば、いろいろな行動が変わってくるのではと思う。
- ・みんなで一緒に子どもたちを見守りたいです。
- ・子ども見守りボランティアヘドライブレコーダーを貸与することで、さらに、犯罪の抑止効果が上がるように思われる。
- ・何年か前から、子供の朝の登校時の見守り活動を行ってきている関係から
- ・事故や事件・災害などに巻き込まれないように地域で見守って活動出来たら良いと思っています。この活動が広まれば嬉しいです。

## **11 これからの移動手段チャレンジ事業 50件**

- ・交通の不便な地域で車の運転免許返納となれば、かなり不自由な生活となりそう。いろいろなアイデアで都市部に引けを取らない移動手段を期待したい。
- ・高齢ドライバーの事故が多いので、免許返納率を上げてほしい。バス路線を増やしたり、タクシーの割引など。
- ・高齢者の移動手段については手を打つべき案件だと思います。高齢者が安心して街で暮らせる仕組みづくりは様々な点で効果が出ると考えます。
- ・父が11月に免許返納。その後は家族が送迎等を行なっているが、仕事もあり充分とは言い難い。本テーマにより、社会全体でより手厚くフォロー出来るスキーム構築の議論をして頂ければと強く願い投票を行いました。
- ・高齢者ドライバーの事故が多発しています。高齢者の免許返納を視野に入れて、コミュニティバスの設置等、車がなくても暮らしていけるような環境作りが必要だと思います。今回のテーマと異なりますが、ファミマでは免許返納された方に対して商品券を付与するといった施策を検討しているようです。三重県庁でも市町や企業と協力して免許返納を促進していくような取り組み(特典の付与や公共サービスの向上等)をしていけばいいかなと思います。
- ・11番について、高齢者だけでなく、一般の人で運転ができない人についても、対象にしていきたいです。
- ・移動手段があってもなかなか返納は困難。具体的な方法を説明するセミナーは有効である。
- ・自家用車よりも便利! かつこいい! な安全な移動手段ができることを期待しています。
- ・自動運転促進ともシナジーをもって事業を実施していただきたいです。
- ・免許返納推進と合わせ、新しい高齢者対策を生んでほしい。

- ・高齢者が親しみやすい取り組みを望みます。たとえば使用する用語なども。「次世代型モビリティ」といっても、我が家の高齢者は関心が持てないと思います。今の高齢者が興味を持って、免許返納しようと思えるようにお願いします。それがいずれ高齢者になる者、誰にとっても良いシステムになると思います。
- ・11番を選ばせてもらいました。私の父親が85を過ぎたときに免許返納しました。しかし、私の住んでいるところから高齢者が移動する手段はやはり、車が主になります。もう少し小回りのきくバスが走ってくれたらと思います。
- ・今の公共交通網では、行きたい所にたどり着く事ができなかつたり、時間がとてもかかつたりします。利用する人が少ないから 便が少なくなり、便が少なく利用しにくいから、乗らない。そこを改良し、県、市、事業所が協力して、公共交通網を充実することで、助かる人が沢山いると思います。高齢者に優しい県を目指すことが、魅力ある県になり、住んでみたい県へとつながっていくのではないのでしょうか。また、観光客の増加にもつながるとおもいます。お伊勢さんのもと、人に優しい県になってほしいです。
- ・電車がない市町への対応など
- ・高齢者が安心して生活できる環境整備が重要であり、特に買い物難民が増加している昨今、高齢者の効果的な移動手段の確保が急がれる。
- ・三重県民全員が公共交通機関を利用できるようにすることは不可能と思う。その地域の住民が既に持っている自動車を、活用して、住民が気軽に、利用できるシステムと条例作り。勿論自動車の持ち主には、お金をはらう。利用者からは利用料を取る。公共交通機関並みの運賃で。誰も乗らない時は運航せず、予約等を取り、同じルートの乗客は同乗もする、、、等。以前NHKの番組をみていたら、日本の何処かの自治体で既にやっているのを放送していました。
- ・将来の不安を持っている為、このテーマに関心があります。地域柄、モーターなしに生活できませんから。
- ・事業番号11について、企業や研究機関に対する自動運転やMaaSの実証フィールドの開放（提供）を加えてはいかがでしょうか？
- ・地方都市の車依存型生活が、公共交通のバス運行の減少に拍車をかけている。中心市街地を勤務地とし、新しい住宅は周辺部、山間部にどんどん建てられ、車なしでは移動できない。きめ細かい移動交通手段の開発が必須です。
- ・三重県は都心と比べて公共交通機関が発達していないので、特に三重県でも地方、田舎では高齢者の運転が必要なのは分かります。ですが、高齢者ドライバーの交通事故が目立ついま、巻き込まれる方の尊い命を重要視すると、免許返納を推進し、その代わりとして、公共交通機関の無料パスポートのようなものを配り、少しでも死亡事故が減るように薦めていただきたいです。特に小さい子供の命が奪われるのには、大変胸が痛みます。
- ・少子高齢化する中で三重県の車社会をどうするか、災害時の避難対策、手段？
- ・高齢化に向かう中で、まさにみんなで意見を出す、アイデアを集約して、安心安全を創り出したい。
- ・また、高齢者が増加するため免許の返上のためには足の確保が大切。
- ・高齢者、障害者が自由に移動できる社会をつくる。
- ・美杉に住む両親の事で切実に困っています。私自身、子育て中(要支援)でありどうしてもそちらを優先せざるを得ない状況が多々あり、今は両親の自活能力に頼らざるを得ません。この先いつまで今の状態のまま生活していけるのか、大変不安です。最終的には同居を考えていますが、親は私達の暮らす旧津市内に来る事に難色をしめす事から、私達が田舎に行く事になるかと思っています。そうすると子供の教育や支

援に不安があり、難しい所もあります。なんとか、親の尊厳も保ちながら生活していける移動手段だけでも、整備していただけたらと思います。

- ・高齢者自身が運転に危険を感じつつ、通院や買い物など、車で移動しないとどこにも行けない、免許を返納できない現状があります。また、免許を返納した後、引きこもりがちになり、認知症や介護に繋がるケースも多くなっています。独居老人の孤独死にも繋がります。移動できる手段を、なんとかして構築してほしい。

- ・免許返納しても田舎は移動手段が無い。

- ・田舎なので移動手段の確保は大きな課題になっている。

- ・交通事故による被害者も加害者も減って欲しいです。私の住む地域でも、高齢者が増加しているにも関わらず、最近バスの本数が減ってしまいました。これ以上、事故が増えないか心配です。最後になりますが、このような意見を言う機会をいただきありがとうございます。今後こういった機会が増えるといいと思います。

- ・たとえば、バス 距離による運賃になっていますが、都市の中心部から離れた人は移動のために料金が高く、気軽に利用できない。どうすれば利用しやすくなるか。

- ・11については、自分が高齢者で免許証返納の時期でもあり、この地の不便さを考えるともっと何か出来ないかと思う時が多いです。

- ・おなじような企画を検討しております。(みんつくの応募をしらずにいて、残念でした((+\_+))

MMは、多くなりすぎる時間帯、場所、車体数コントロールなど車を利用できる世代へのアピールだけではなく、年をとっても、車がなくても、楽しく安全に道を利用できるモデルを作ることが重要だと考えます。

これからは、「交通手段を失う、または、手に入れられない人は一見、おきざりのようなまま・・に、するのはなく、公的にも、新しい方法を取り入れる具体的な、お手伝い、提案をする」ことが急がれます。この考え方でMMをすすめることにより、車を利用して商売をしている方、車を利用できる人、車づくりに係る多くの人の幸せにもつながると考えます。

しかし、新しい方法を試してみようと、考えてみても、安全性の課題、ルールや法律、現状の道路環境などにより、モデル作りもままなりません。みんつくなどの企画により、モデルケースとして地域や時間帯を区切り、実験することで、企業や、若い学生さんたちのお力を借りたり、実際に利用するために解決すべき課題がどんどん見えてくると思います。この企画が、みんつくで採用されましたら、私も協力したい、と思える企画です。

- ・今は自動車での移動が可能ですが、10年もすれば自家用車は手放さなければならなくなるでしょう。移動手段の確保は私にとって切実な問題ですが、沢山の課題が想定されます。是非、応援・協力したいものです。

- ・公共交通機関が少ない地域の移動手段を確保することにより高齢者の社会参画を促進してほしい。

- ・多発している高齢者による事故を踏まえ、免許証返納につなげて頂ければ。

- ・公共交通の少ない地域において、高齢者の事故防止・免許返納後の交通手段の創設が課題。新しい公共交通手段の事業実施の発想・きっかけが必要。

- ・これからの移動手段チャレンジ事業において、公務員の公共交通機関による通勤を奨励して欲しい。公務員の通勤により交通弱者の移動手段を守るという発想が必要。また、公務員が自動車通勤し、職場の駐車場（公共の土地）を使っている場合、周辺の駐車場と同じ相場の使用料を取るべきである。公共財産を無料で利用する常識的な範囲は駐輪場までだと思う。こういった施策を統合して、公共交通機関を守る取

り組みを進めるべきだ。

- ・11について。田舎なので、移動手段は、車しかない。車がないと生きていけない。バスがもっと発展していけばいいのになーと、思いました。
- ・免許返納した場合の移動手段として、無料または格安乗り合いバスを用意してほしい。
- ・交通手段も三重交通が通っていない地域に対し、ぐるっとバスの拡大を検討が必要である。
- ・現在団地に住んでおり、ほとんどの方が主要な移動手段は自動車なのが現状です。駅も遠く、バスは本数、行き先が少ないため利用する人が少ない。住民の高齢化に伴い、移動手段をどうしていくか不安に思う声を沢山聞きます。免許返納後の交通機関の充実が切に望まれます。
- ・高齢化に伴いますます困難が予想される中で色々な方法を取り入れて欲しい。
- ・はやく普及充実させてもらって 母に免許返納させたい！
- ・高齢者の移動手段として、農山村地域では公共交通機関が十分ではなく、不便をきたしている。自動車を運転できなくなった 時のことを考えると心配だ。
- ・高齢者に対する移動手段の確保は急務であろうが、移動しなくても生活ができる社会環境の整備にも力を注ぐべきである。
- ・「これからの移動手段チャレンジ事業」は自動運転やMaaSへの積極的な取り組みを期待しています。
- ・11について、我が家でも運転免許返上問題が話題になりますが、返上後の老人の移動手段を、不安のないように、また楽しみが残せるように、考えていただけないと思います。これは、老人に限ってではなく、皆が車から少し離れて生活が出来ることも、健康上必要だと感じます。
- ・バスしかない路線に住み、そのバスも年々本数が減っていく中、自分が高齢となったときのことを考えると、長年住んだ地域の脱出を考えなければならない現状に危惧している。
- ・私は一応桑名市ですが、中心部より外れた所に住んでいます。交通の便が悪い為、車がかかせません。しかし、高齢者による車の運転事故が多発しています。バスなどの本数が多くあれば私も高齢者なので考えますが、今の所返納できません、移動手段のチャレンジとして、自動運転の開発促進で、高齢者、障害者に安くて、便利な乗り物の充実を一刻も早くとって頂きたいと願っています。
- ・三重県のような中山間地域の生活を確保する一つの方法

## **12 県民参加・体験型食品ロスゼロ啓発プロジェクト事業 30件**

- ・応援しています！！
- ・地域のフードバンク等の事業者、小・中学校への出前事業をしてもらうなどの座学だけに終わることなく、希望者には実際の現場や有効活用事例の見学体験の機会、企業側へのメリットをPRする事業者向けの取組などの充実を図っていただきたいです。
- ・松阪で開催してほしい。(同様の意見がほか1件)
- ・12番目の事業については、事業効果以外の効果が波及すると感じます。是非前向きに予算編成をお願いしたいです。
- ・日本は店頭に並ぶ食品の約半数は廃棄されるという現状に、愕然としました。我々消費者が、賢く適正な消費を行うことで、その食品を生かすことができると思います。今はどうやって？の具体策を知りません。
- ・食生活でもったいない思いから、つつい食べ過ぎ、標準体重をかなりオーバーしていますが、生あるものの大切さを啓発していただきたい。

- ・食品ロスについて、事業で選択しませんでした。が、外食で少量が選択できないところが多くもったいと思いつつ、食べきれないので、残しています。高齢化社会であるので、食べきれず残している者はたくさんいると思います。この問題の解消も考えてください。
- ・飲食店でアルバイトをしていて、食品ロスが気になっていたから。
- ・食品ロス問題を身近に捉える手段として啓発になる取り組みであり、市町も参加すればより広がると思う。
- ・食品ロスゼロ啓発事業について、フードドライブ事業に併せて、児童扶養手当を受給されているひとり親家庭等の生活困窮者に直接食料を届けられるように、市町に通知文書を依頼するなど、こどもの貧困対策もお願いします。
- ・生活に困った方への支援を仕事でしております。フードバンク団体にはいつもお世話になっており、たくさんの支援を受けております。たくさんの方にそうした取り組みを知っていただき、食品ロスに繋がれる仕組みを構築していただければと思います。
- ・食品ロスは、本当に大きな問題です。これからは、食糧難や水問題など、食品に関する問題が、重要視されます。助け合って、これからの日本、世界を考える必要があると思っています。
- ・過度な需要と供給を考え直す
- ・食べ物に困った経験がない人や忘れた人があまりにも多すぎると思う。食品ロスへの理解を今一度大切にしてほしい。また、互いに知り合い、理解する機会を増やすことで住みよい三重県を作ってほしい。
- ・私も何とかならないかと思ってました！
- ・廃棄食品も減らして生活困窮者の支援にもなり、いい事業になると思う。
- ・12番、本当に食べ物に感謝ですね！
- ・食品ロス問題の改善には、普段の生活における一人一人の意識が大切だと思う。これが、みんなの理解が深まる第一歩になればと思う。
- ・困って見える方々に、余っているものをお渡しできることは、お互い助かります。無駄をなくし、有効に活用してみんなで助け合いをしていければ、よいとおもいます。
- ・食品ロス事業は大変素晴らしい事業だと思います。
- ・給食の残飯があまりにも多いと感じております。そう思う自分できえ、気づいたら消費期限を切れている食べ物があったりします。ロスをへらす方法、それをイベントでより深く楽しみながら考えられることを楽しみにしております。そして、考えたことを日常に持ち帰れるような、行動につなげられるようなしぐみに期待です。
- ・食品ロスの問題は、私たち消費者は知らないことだらけのように思います。しっかり実情を知って改善できればと思います。
- ・家庭園芸でできた成果品を利用していただきたい。
- ・食品ロスについては気になっている。
- ・普段の食品ロスは個々の家庭レベルのことしかわからないけどコンビニ・スーパー・飲食関係に従事する方々は凄まじい量の廃棄を目にしているんじゃないかと思う。「食品ロスを削減」ではなく「三重県は食品ロスをゼロにします！」・・・てのは無理かなあ・・・
- ・食品ロス削減は今後の大きな課題で、減らすことは企業、消費者、公共団体ともメリットがあり、いち早く取り組んでいただきたいです。
- ・有効な食品の処分方法を拡散する。



- ・子供の頃からもったいないという意識が必要。食べものを捨てることのない社会にしてほしい。
- ・題名だけでは興味がわかないところが多いが、日本は食品ロスが多いと最近話題になってるから

### **13 性の多様性を知ろう！みんなで虹色キャンペーン事業 16件**

- ・伊賀市が取り組むアライの輪も広げていきたいです。
- ・LGBT 当事者です。これからもっと理解、周知徹底が必要になって来ます！
- ・日本初な事です。未来を切り開く三重県 是非、応援します！
- ・今取り組みをしている中で一番魅力的であるから。
- ・周りに性同一性障害の友達が何人かおり、生きづらさをみんな感じているので。
- ・トランスジェンダー当事者です。職場では素性を隠して過ごしていて非常に生きづらいです。外側からだけでもそういった知識が啓発されることを願います。
- ・13 番を選びました！多様性を認め合える世の中になれることを祈っています。
- ・虹色キャンペーンで個人の尊厳を大切にす三重県になってほしい、と切望します。
- ・性別が1つでは無いことを多くの人に知ってもらいたいからです。
- ・13 について、三重県は他の都道府県に比べて学校関係を中心に LGBTQ の普及活動は活発だと思います。しかしまだまだ普及の進んでいない病院関係、行政、企業、社会人の県民の皆さんに広く周知できる取り組みだと思います。これが限られた地域だけでなく三重県全体として取り組めたらもっと素晴らしいと当事者の一人として願っております。是非三重県を LGBTQ の先進県にして下さい！
- ・性をメインにしつつも、世の中には色々な価値観がありそれに優劣はないことを伝える事業になればいいなと思います。
- ・まだまだ自由にカミングアウトできない現状ではないでしょうか？誰もが生き生きといきられるために、もっともっとみんなで感覚を変えていかないと！大事な税金だからこそ、一人ひとりの幸せを考えた活動に使ってほしいです。
- ・啓発イベントによって、性の多様性を知ることで、人権について誇れる三重県人になれるような事業と思います。
- ・誰もがありのままの自分で生きられる社会にしていきたいです。それを拒んでいる社会の一員であることを、わたしも含め、ひとりひとりが向き合いながら差別をなくしていきたいです。
- ・色々な人が生き易い世の中に。みんな違って当たり前。その感覚が普通の世界に。
- ・マイノリティについてもっと早急に関心を広げたい。

### **14 映画で知ろう！「みえで活躍する外国人住民」事業 55件**

- ・「映画を撮る」という点が斬新な企画であると感じました。この事業が実現した場合、本県ともゆかりが深い小津安二郎のような作品に仕上がることを期待します。
- ・沢山の外国人が周りに住む時代ですから、共生のために必要と考えます。
- ・ますます外国の人との助け合いが必要
- ・少子化が進む中で、大変共感する課題です。最終的に、日本または世界の多文化共生のモデル都市になれば、移住など通して市の財源も安定しますし、他の事業での課題も自ずと解決していくと思います。
- ・この事業を通して、活躍の実態を知る機会となることを願っています。
- ・多様性の共感に映画という媒体は面白いと思います

・多くの外国人が三重で働き、多くの子どもたちが三重で学んでいるなか、多文化共生社会の実現は、今後の県政をすすめる上できわめて重要。そのためにも、みんなが「知ること」は大切であり、本事業の推進は、その大きな第一歩となると考える。

・多文化共生の観点から必要なものを選びました。外国人に選ばれる三重県であって欲しいし、先進地域の事例として、発信していく意味もあると思います。

・三重県に暮らし他国から移住してきた人達に日本語を勉強する機会をもっと沢山持てるようにする、日本語は難しいといわれるのは他の言語より 10 倍以上のボキャブラリーがあるので他国の方が覚えるのは大変、そのサポートをして三重県が人口も増えもっと豊かになるようにして欲しい。

・14 は 多文化共生、国際平和、人権尊重の観点から重要と思います。

・是非とも頑張ってください。

・私も外国人ですので、外国人と関わることをもっと知りたいと思います。

・自分は興味があるものをえらびました。特に14番に期待します。

・外国人が多く住んでいるし、外国人と共生しないと地域や経済は成り立たない。より多くの人に共生の必要性を感じ知ってもらうには、映像は非常にわかりやすくよいと思った。

・14番、緊急に大切な事業だと思います。ここに来てよかった、三重県に来てよかった、日本に来てよかったと心から思えるように。誰もが未来に希望や夢を抱いて過ごしてほしいと思います。

・在日外国人は、戦前の韓国人のような扱いをされてるのではないかと危惧している。

今は経済もよくて、またオリンピック需要で働けても結局自衛隊員にされて、戦争にかりだされるかもしれない。

日本人でさえ安定した働き方ができない今（派遣やアルバイト半数とか・・・小泉政権の弊害・・・安倍政権で自衛隊員は国家公務員です！と大々的に募集のチラシが自治体で回覧されドキッとした！）派遣会社が負担すべき社会保障がスルーされているとも思う。

沢山の人材派遣会社ができてハローワークは派遣会社へ派遣する仕事をしているのでは？とも思う。

人を材料としか見ない今の経営者の意識がある限り働く人の意欲も削がれるのではないかと思う。

”会社が人を育てる”という時代が本当の持続可能な働き方、経済であったのでは、とも思う。

・14番！ぜひよろしくお願いします。

・外国につながるのある子どもが増えています。ぜひ取組の推進をお願いします。

・外国につながる子どもへの支援をぜひよろしくお願いします。

・日本人同士でも互いを認めあったり受け入れることが難しい世になっていると感じます。広い視野や発想力など異文化を知り、理解し合うコトこれから益々大切だと思います。年令、性別、人種を超えて。

・がんばってください。

・体を労りながら思いっきり楽しんで・・・。

・多文化共生の社会の実現を。

・だれもが暮らしやすい社会にするためにも多文化共生の理解を進めていくことは大切だと思います。

・特に、外国から来た方々がとても増えてきました。彼らがどんな思いで日本に来ているのか、どんな思いで働いているのか、そんなことを共に三重に住む仲間として考えていきたいから選びました。

・外国人住民に関しては彼らなしでは日本経済が成り立たないほどと言われているのに、私たちは彼らの存在を意識しなすぎます。お互いに理解しあい、平和に暮らすために情報をきちんと誰にでもわかる形で流してほしい。

- ・活躍していなくてもええやん！ 外国人も安心して暮らせる社会をつくる
- ・多文化共生社会への理解はこれから必要となってきます。海外で居住した経験から地域での取り組みも進むとよいと思います。
- ・多文化共生社会がより良い三重の未来を切り開くと、信じています。
- ・三重県は在住外国人も多く課題も非常に多いです。しかし、それに関する取組はあまり進んでないよう感じます。むしろ後退しています。日本社会全体がこの問題に注目している中で、三重県は他地域ではない取組を率先してやるべきだと思うので、14番は非常に魅力的な事業だと思います。
- ・多文化共生、相互理解のためにぜひ、必要だと思います。
- ・よろしくお願いします。(同様の意見がほか2件)
- ・特に応援します。
- ・是非14促進を図ってください。
- ・みえに住んでおられる外国人の方を応援したい
- ・松阪市にも外国人住民がたくさんあります。その方々の理解を深める取り組みは大切だと思います。
- ・私は外国人からこの話題は興味があります。
- ・外国の方が三重県で私達が生活していく上で大変お世話になってるか理解することになるから。
- ・三重県にもたくさんの外国につながる人々が生活しています。なかなか”共生”多文化を受け入れるのはむずかしいので、日常的な生活の違いを知ることも大切。
- ・世界の人が仲良く暮らせる世の中を！！
- ・これからますます多文化共生大切にされるべく時代となります。ドキュメンタリーというのが良い。
- ・日本人と外国人が触れ合うためになると思うからです。
- ・日本人に外国人をりかいしてもらうのに、ぜひおねがいします。
- ・ガンバッテ！
- ・外国人が増える社会に多文化を理解する必要がある。
- ・映画で理解促進はきっかけになると思う。
- ・外国人が増えたが、どういった経路で来て、何に携わっているか興味があるから。
- ・今後の地域発展に外国人活躍が欠かせません。特徴ある活躍をされている外国人の実績がみたいです。テレビで、伊根町の舟屋旅館を再生する女性の取材をしていたようにです。
- ・三重県下には名だたる自動車産業が有り、益々外国人労働者に頼らざるを得ない状況ですが、互いに助け合い、融合しながら良き住民社会を形成していくことが重要です。もっと、情報交流が出来る活動を形成して頂き、お互いが良いところを知ることが必要と考えますが――。
- ・多様性を受け入れ認め合うことの推進に役立つ
- ・Let's make cinema! Active foreigner Mie. (三重の活動的な外国人をテーマに映画を作ろう。)
- ・Para una mejor convivencia, es importante conocer la manera de pensar de los extranjeros que vivimos en Japon. (より良い共生社会のために、日本で暮らしている外国人の考え方を理解することが大切だと思います。)
- ・La conciencia de que todos vivimos en un mismo planeta, respiramos el mismo aire, hará que tengamos mejores proyectos y actividades para bien de todos. (皆が同じ世界に暮らしていることや、同じ空気を吸っていることを意識できれば、全員のためにより良い事業や活動等ができるようになります。)

## **15～知って、学んで、体験しよう！～三重とこわかボッチャムーブメント展開事業 13件**

- ・三重とこわか大会につながり、関心を抱いてくださるような事業が良いと思うため。
- ・障がい者、健常者共に隔たりなど一切ない世の中を強く願っています。スポーツは万人にとって前向きに何事も取り組める発端になります。ボッチャを通じて県民みなさんが笑顔で過ごせますようにと思います。
- ・ボッチャは、一度体験しましたが、なかなか面白いと感じました。誰でもすぐに参加でき、その気になれば上達も早くできると感じました。ぜひ、皆に知らせることができる機会を作れたらな？と思いました
- ・体験イベントなどをするのを、南の方の地域でももっとやってほしい。私は志摩市に住んでいますが、そういうイベントはどうしても北の地域で多くなってしまいます。しょうがないのかもしれないですが、もう少し近くで開催して欲しいな、と思います。
- ・ラグビーW杯や東京五輪や三重とこわか国体・大会などによりスポーツへの関心が高まっている中で、性別や年齢、障害に関わらず楽しむことができるスポーツを通して、障害者の方への理解を深めるのは非常に有益だと考えます。
- ・誰もが楽しめるスポーツとして、小中学生や障がい関係者だけにとらわれず、高齢者も含めて小さな地域の中での普及啓発をしてもらいたい。
- ・ボッチャもようやく広がりつつあると感じています。障害の有無に関わらず、レクリエーションとしても楽しめるボッチャを展開していただければ、より広がりが見られるのではないかと思います。
- ・とこわか国体がみんなの心に残るように！
- ・とこわか国体を盛り上げてほしい
- ・面白いと思います。
- ・日常では感心をもってもらえない領域であるが、生きがいの持てる郷土にとっては大切なテーマである。
- ・障がい者だけでなく、高齢者や幼児などすべての人が楽しめる競技だという事を普及してほしい
- ・ボッチャに興味があります。

## **16 神話の道～伊勢神宮から熊野古道～事業 7件**

- ・歴史・文化事業、もっと県が旗をふって下さいね。（日本人の心のふるさとでもあるので。）
- ・住民として一緒に取り組みたい！
- ・歴史・文化の継承が薄れていくことを危惧する。
- ・神話をベースに三重を発信してほしい
- ・特に16を充実していただきたい。10年程行ってないので名前も忘れてしまいましたが、多気町の山の中のトンネル（地元の噂話では）幽霊が出るという話で有名な、実は、出ませんがそういう雰囲気のあるトンネルを含んだ古道は残していただけたらと思います。
- ・今では国内外からたくさんの方がお詣りにみえる場所だと思うので、綺麗な自然環境を保ちながら観光地として栄えてくれたらと思うので、何か学べたらなと思いました。
- ・過疎地の活性化に役立つような広報や歴史発掘なら有効と思う。

## **17 #SNSを活用したみえの魅力満載食材発信事業 13件**

- ・三重県の魅力食材のアピールは三重県観光などのアピールにも繋がり、内容次第では凄くいい事業になるのではないかと感じました。

- ・三重の食は素晴らしい！
- ・県産食材を県内外にアピールし、知名度を上げたり、特産化して生産性を上げるのは良いことだと思うし、SNS で情報提供することで、より消費力も上げられると考えるから。
- ・三重の食材を使って、三重県の益々の発展をお祈りしています。
- ・三重の魅力満載食材事業、とても興味深いです
- ・豊富な三重の食材を全国の方に知ってもらう活動はとても重要な活動と考えます。
- ・17 はぜひしてほしい。
- ・三重にもたくさんのおいしいものがあることを知ってほしい。
- ・海藻等アピールできる食材はたくさんあると思うので認知度を上げてもらいたい
- ・県内産の食材の情報を発信することで利用方法など活用がもっと促進されると思う
- ・地産地消は重要だと思う。
- ・GAPのことがあまり説明されておらず、(農業生産工程管理 (GAP) とは GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと) とのことだが、認証の必要性、効果がよくわかりません。
- ・三重の水産・農業の産物の魅力の発信とともに、より海外を対象にした (輸出、インバウンド) ものにして活性化を進める。

## **18 三重のアスリート～強さの秘密～トークリレー事業 9件**

- ・アスリートだけでなく、政財界で尽力をいただいた方の話も聞いてみたい
- ・アスリートの環境向上よろしくお願いします！
- ・トークリレーのみならず、アスリートの後押しを望みます。なお、アスリート支援は、国体の有無に関わらずずっと必要だと思います。さらに言うなら国体は、開催県の総合優勝がマスト！という考え方があるのであればそれはナンセンス。考えをあらためて欲しい。県予算の心ある執行に期待しています。
- ・三重とこわか国体大会 2021 に向けて PR を！
- ・有名アスリートが発信をする事で、三重県の認知度が上がる。また、国体 (今は全然県内にも浸透していませんが) への関心も高まり、大会への参加、見学もより増えると有り難い。これを切っ掛けとしてアスリート育成のために必要な情報提供ができたり、県内での活動を推進していくことで、三重県内でのスポーツ育成知名度も高まるような気もするから。
- ・18 番について、三重の小中高の各スポーツで将来性のあるアスリートをピックアップして特集すると、21 年は国体もあるし子供達にも良い刺激になるのではと思う。
- ・アスリートの体験を次世代に引き継ぐ機会があればよいと思う。
- ・東京オリンピックも近いし、知事の奥様も含め、三重にはメダリストも多く、東京に持っていかれそうな時に、三重に引き付けるのも良いかと。
- ・アスリートは もういい

## **19 Mie One More Stay 推進事業 16件**

- ・インバウンドによる国内観光の宿泊等も考えてほしい。
- ・三重の活性化の為に県内外、外国から人が集まるイベントなど、是非行きたいと思うような事を実現していただきたい。

- ・19番について、伊勢志摩サミットなど国際イベントの招致をすれば実現できるかも。
- ・19の外国語による情報発信は、イベントHPの各国語翻訳と合わせて行うことが出来れば相乗効果を発揮すると思う。世界共通で使用されているアプリ(GoogleMapのGoogle My MAP)などの利用も、簡単なうえに非常に有用なので、ぜひ盛り込んでほしい。
- ・地域資源として、「薪能・神楽舞」のような神秘的なもの、史跡、街並みの地域毎のライトアップ、屋形船でナイトクルーズのように夜間に楽しめるメニューを考えてみては如何ですか？
- ・海外への情報発信には、ターゲットとする国の外国人の意見を入れてほしい。マーケットイン型の施策が少ない。
- ・登山やトレラン、ハイキングを趣味にしております。最近 日本の古道歩きの国内在住の外国の方が増えてきていると感じます。(木曾の妻籠馬籠ではほとんど歩きとおすのは外国の方でした)。その際に半日のモデルルートや山とセットで楽しめる日帰り温泉、体験型地域の文化活動に関する情報が欲しいです。山に来て そのあと三重で消費活動も行ってもらえるようにしたいです。この情報は外国人に限らず 三重を来訪される若い登山客にもとても有効と感じます。
- ・三重の観光資源を最大限に活かして、国内外からの観光客を取り込み、地域活性化につなげられるとよい。
- ・自治体ごとでバラバラの対応ではなく、県全体で取り組むべき。  
特に英語圏の外国人は「英語が通じて当然」の感覚で世界中を旅行していることや特に体験型を好む傾向が強いことを踏まえ、HPはもとよりパンフレット、外国語でのツアー案内、宿泊案内の充実など外国人に魅力を感じさせる取り組みが必要と感じている。
- ・三重県への観光客、インバウンド客を県内にもう一泊させる為の魅力有るコースの選定、特に美味し国のPRが必要。
- ・外国人にももっと多く三重に来てほしい
- ・外国人観光客を対象とした新しいプランを考えて頂きたいと思います。
- ・外国人観光客だけに的を絞るのではなく、国内の観光客も訪れてくれるようにしてほしい
- ・恵まれた環境、豊富な観光資源を生かし切れていないと思われるためです。
- ・三重県での楽しみ方をたくさんアピールすることで三重県の活発な事業が増えると思います。
- ・インバウンド対策は重要

## **20 住民参加型維持管理推進事業 17件**

- ・近所の矢合川の高橋付近は、地元の方々が定期的に除草作業をしていただいているので、きれいに保たれています。他地域に行くと、雑草がひどく、ゴミも捨てられています。このような活動に、助成があればいいと思います。
- ・地域を美化して維持に貢献している自治体に対して、行政支援を厚くすることは、その促進につながると考えられる。
- ・自分の住む街を自ら美しく保とうとする機運、文化の醸成に役立つことが期待されます。
- ・人労力を要する環境整備等に係る奉仕作業について、これまで、概ね60歳から70歳を中心に行っていたが、年金給付年齢引き上げに伴い、環境整備等に係る奉仕作業等が65歳からとならざるを得なく、作業ができる対象者が減少している。
- ・何でも行政に頼む傾向があるが、自分達で出来る簡単な工事をする意識の高い団体には必要である。励

みになる。

- ・公共土木施設の美化等の活動に住民が参加することにより、各施設の存在や活用なども広く周知できる効果があると思います。
- ・三重県内では知りませんが、環境活動をするNPOは年1～2回、活動報告会があるそうです。それらを支援又は活用しては如何ですか？なごや環境大学のような活動団体はないのでしょうか。
- ・公に頼りきりでなく 自分の町は自分たちで守るの気概のある方が私の住んでいる街には多いです。長年続けられてる活動を評価し、広く知っていただくことは大きな動機付けになり 次の世代へとつなげるために必要な施策と思います。
- ・20について、国道1号線沿道の除草作業の遅さに不満。観光で訪れる人もいます。生い茂ったままの所が多く、火が廻ったらどうなることかと心配。道路整備は、アスファルトだけではありません。
- ・主として三重県の自然環境を保護・保存するための管理であることが必要であり、伐採・道路開拓などで貴重な森林（すなわち無数の微生物・動物）を破壊しないことが、行政では無視されている！行政がやらないならば、住民に委託してほしい。
- ・20番については、公共土木施設の維持管理のために住民が参加することによって、住民にしか気づかないところや維持するための意識が高まると思いました。
- ・県だけでなく、市町村への補助事業としても実施していただきたい。
- ・みんなで出来る事、支え合っていくことが大事。
- ・県道や河川は、県の委託事業者しかできないと思っていた。県民が協力することで、支出を削減でき、自分たちのきれいな町にできる良い内容だと思う。
- ・今後必ず必要となると、想定している。
- ・同じ道路を何回も掘り返して工事しているから、地元の意見を取り入れて色んな工事を一度にできないか。
- ・とても重要なのに、自分たちがやると損という考え方が根強い。やれば金銭的にお得、またはやらなければ損を受ける感覚を得られる方向にも検討願いたい。

## **その他のご意見**

**170件**

- ・たいへん興味深い取り組みだと思います。しかし選挙のように単純に多数決で決めてしまうことは、とくに障害者やLGBTなどのマイノリティの意見そのものを反映できないことになってしまうので本末転倒ではないかと懸念しています。また、各項目のテーマはわかりましたが、もう少し具体的な事業の内容（金額の根拠）が示されるとありがたいです。
- ・「私も投票もしたい！」と10歳の娘が言っています。子供も投票出来るようにしてほしいです。
- ・このフォームだけでどうやって投票者が三重県民かどうか、実在する人物かどうかを判断するのか伺いたいと思いました。
- ・いい企画だと思います。
- ・それぞれの提案は他でもよく聞くもので、何が優れているのかがわからない。テーマがバラバラで県民に選択させてどうするのが疑問ではある。現状の興味があるものにチェックしました。
- ・みんつく予算という今までにあっただのか知りませんが、新しい考え方の予算づくりに感心しています。
- ・何かが始まる感は伝わってきますが、その後どうなったか、経過はどうなのかの告知に力を入れて欲しいです。

- ・これまでにやったことのない事業を期待します！
- ・三重県らしい、他では見たことのないような事業になることを期待します。
- ・できるだけ安価にやってください。
- ・今後進むことが想定される過疎化や自然災害に備える事業に予算をつけてください。
- ・事業についてではありませんが、個人的に思ったことですが、合計 229 件は少なくありませんか？もっと、多くの県民の方々に、事業提案を募集していることを、知らせる方法も考えた方がいいと思います。最後に、募集していた事業が 20 は多いと思います。3~5 くらいに絞った方がいいと思います。
- ・採択された事業は積極的に推進して、終わったら検証して継続して行って欲しいです。
- ・単年度計画でなく、5~7 年と中期継続でおこなってほしい。
- ・いい企画だと思います。来年も実施してほしいです。
- ・ファイト！
- ・応援してマス！
- ・県民に広くメリットのあることにお金を使っていたきたいと思います。
- ・いろんな事業案がありなるほど感じました。タイトルにとっても興味があるのですが・・・内容がもう少しこうなればいいのになというのがありタイトルはととても賛同できるのに、内容でつまづいて投票ができないものもありました。内容については今後色々考えてプラスαしながら良いものになっていく形かな？このままの内容で進んでいく形かな？と行ってしまいました。
- ・アンケートフォームだけでは内容がわかりにくいのは、UI 的に改善してほしい点です。
- ・みんつく予算の予算額をすべて、県立学校のトイレの洋式化に使ってほしい。
- ・事業の到達目標、KPI などが示されておらず、適切な予算規模かがわからない。詳しく事業計画を述べるサイト等の工夫が欲しい。
- ・みんつくを理解していない。
- ・難しくてよくわからない。
- ・重複し、また、該当意見ではないかと思いますが、「みんつく」というひらがなにしたいとは何か？（みんなで創る県の政策・予算）のこととはしばらく考えないとわからない。伝達方法、広聴広報方法を色々企画されるのはいいが、県民誰にでもわかりやすく伝え、理解・共感が得られる方法とは？
- ・やり方がわからない。
- ・いずれにせよ、税金の無駄遣いにならぬようにお願いしたい。
- ・とっつきにくいですね…
- ・どんな事業があるか知らなかった。自分で知る努力をしたいと思います。
- ・アンケートに答える年齢層でかなり回答が変わると思いますが老若男女に共通したものに重点を置いていただきたい。
- ・投票したい項目はありませんでしたが、どれかを選ばないと本アンケートを終えられなかったので止む無く適当に選択しました。どれもキャッチフレーズが先行して、内容がよくわかりません。わかりやすい言葉による表現をお願いしたいです。
- ・この制度等を知らなかった。もっと周知すべきである。
- ・よくわかりません
- ・みんつくがよくわかりません。
- ・この予算投票について、あまり知らなかったので意見を言う立場にありませんが、この取組み自体をも



っと沢山の県民に知ってもらえると良いと思います。

・Q14. に掲げられている事業の目的体系がよく理解できない。故に、主たるテーマと相互の事業の関連・相乗効果の出し方、住民の意識の高揚策等、全体と個々の事業の関連が理解できない。県民の生活全体を財政的に何を優先させどう支え向上させていく考えなのか、細分化された事業からは読み取ることが難しい。現に、卑近な例であるが、自分が住まいをしているところでは災害放送が聞えない。市に聞けば「予算がないので今の『形』が精一杯である」という。予算がないから…災害弱者になってもやむを得ない。これって、国や自治体の財政的な方針なのか？県民の命は「格好の良い事業」より優先されるべきだと考える～予算を張りつかせ消化していくことが行政の仕事ではない。失礼!!

・興味をそそる項目が無くて困りました。  
・PRに力を入れるのはいいけれどそこにお金をかけるのはやめて欲しい  
・全然知りませんでした。  
・今だけを考えるのではなく、今後の三重県のことを考えて、継続できる取り組みを。  
・”みんつく予算”など、聞いたこともない。  
・子育てを支援しよう。障害者を支援しよう。他県から移り住む人が増えるような、住みやすく、魅力的な県にしたい。もっとできることが有るはず。もっと大事なことが有るはず。

・がんばろ 三重

・1、7、9の事業に関して、子どもに関する事業では、子育て中の親の意見を取り入れてほしい。とくに、子どもに自身の意見を反映させることが重要だと思う。三重県は子どもの権利に重きを置く活動を多く行っているのですが、年齢による壁を取り払い幼い子ども自身が事業の内容を把握し、自らの身を守れるように繋げてほしい。

・11と16の事業を共にまとめてするのがいいのではないかと考えました。

南部地域は特に移動手段が限られており、自動車に頼らざるを得ない状況。熊野古道伊勢路をアピールすると同時に、南部と他地域を繋ぐ新たな移動手段(オンデマンドバス、未来(ドローン、自動運転)の車など)を考えてみると観光PRによっては観光客誘致に、また、三重県民にとっては高齢者免許返納等にも繋がり、色々な効果が期待できるのではないかと、思いました。

・全てに関してですが、イベント、活動をするをもっと発信して欲しい。参加したいと思っけていてもそのようなイベントがあるとわからなかったり知らなければ意味がないので。13.20.市町予算で良いと思う

・自分の提案ですので!! まずは1票です。

・富永さんのがんばりに感動しました。

・3、4について県民すべての方の生活に関係する重要な事業と思われませんが他の事業に比べ予算額が低いのが気になります。ぜひ、一人でも多くの県民の方へ情報発信していただくためにも取り組みをお願いします。

・順位としては、一番 11、二番 1、三番 17 です。どれも単年で終わりではなく、長期の視点で事業推進をお願いしたいです。

・三重県南部や山間部の過疎化した住民の生活基盤の維持並びに支援を考えて下さい。

・発信やPRといった予算投下の効果測定が明確に為されない事業は廃案とし、私財を投げ打ち尽力する者を実質的に援助する方向で予算使用するべきである。

・11番、12番: いずれも、気候変動(気候危機)、及び食糧危機という地球規模での問題に対して足下の地

域から取り組むための良い活動だと思います。

- ・津波防災やクルーズ船寄港誘致は中部地方整備局や四日市港管理組合とも連携して対応をお願いします
- ・三重を広く知っていただく事業の推進に賛成です。伊勢志摩サミット、お菓子博覧会など世界が目を向けられ始めています。日本を代表する県になれるよう微力ながら協力できればと思います。
- ・予算は、子供と年寄に重きを。また100%使い切るという悪しき慣習はやめたいので、中間点で監査してもらいたい。
- ・大門をもっとよくしてほしい。
- ・大門商店街が大変になっています。この2～3年先にはシャッターばかりになるのではないかと心配しています。
- ・県民生活がより豊かになりますように。
- ・子供を持つ親として是非とも子供に対する事業に力を入れて取り組んで頂きたいと思います。
- ・選んだ事業が選ばれたら嬉しいです。
- ・地球温暖化対応を県として取組みたい。
- ・子育てを充実させて国民の数を増やしましょう
- ・中長期的に継続できる事業を選びました。また、県の抱える課題等に対応するものとして、効果のある提案を選択しました。
- ・新たな土台の構築にチャレンジしてほしい。
- ・将来の住みよい三重県作りのために、多様性に富む若い力を！
- ・三重県は外国人住民の比率が国内でもかなり上位です。色々な多様性が問われている中、文化の多様性に対する意識、取組をあまり見かける機会が少ないように思います。災害時にも日本人のみならず、外国人住民を理解する事で避難者の支援にあたる場合も多いと思います。子供見守りは将来を担う共通事項であると思います。
- ・民間事業者を上手く巻きこんで大きくPRしてほしいです。
- ・よろしくをお願いします。
- ・県内のどこに住んでいても年齢不問で、誰もが生きやすく一生住み続けたいと思える地域になるよう切望します。
- ・フードバンク団体の倉庫などの予算を確保したい。
- ・近年問題になっていることを解決してほしいと思ったから。
- ・少子高齢化が進む中で、子供に対する政策は重要だと考えます。
- ・地元発展に期待します。
- ・皆さんのいろんな思い知りたいです。
- ・多様な考え方ができ、個性が尊重される社会になってほしい。ぜひお願いします。
- ・予算が苦しい中大変だとは思いますが、モノではなく、人に投資して、長期計画で三重県を育ててほしいと思います。
- ・迷うところです。しかし、青少年をネットから守る、ということ、体験型で、もっと県民が繋がる、ということが大事だと思います。
- ・これからの社会を担う子どもたちのために、事業をしていただきたいです。
- ・多様な人が、多様な生き方ができるような社会になってほしいです。
- ・地方活性化のためには若者の力が最も大事である。若者を地方に定着させるには彼らのやる気を助長さ

せるための魅力ある施策が最も望まれます。

- ・10, 12, 14それぞれ早急に対応が必要と思われる。
- ・現代では『ワンオペ育児』が当たり前になっています。結果子どもに虐待する親が増えています。これに関して私は100%母親が悪いとは思えません。もちろん『手を出す』という行動は『悪い』かもしれませんがもっと母親たちの現状（手を出してしてしまうほどの精神状態になってしまった背景）に目を向けてほしい。例えば昔は赤ちゃんへの授乳だって周りの母乳の出るママに代わりにあげてもらって赤ちゃんのママはできるだけ身体を休めることができる環境にありました。しかし現在は私も含め、寝不足であろうと赤ちゃんには『私（母）』しかいません。景気の悪い今（デフレ10年は日本だけ）、パートナーは仕事に忙しく休暇も満足に取れず、故に母親は休みたくても休めません。そこ（ワンオペ育児）をサポートしてからプラス子どもの見守り活動に力をいれてほしいです。大切なのは未来ある子どもではなく、未来ある子どもを見守り育てる両親だと思うからです。人間はまず自分の心が満たされてこそ、人に愛情を注ぐことができます。

- ・どの企画においても地域の高齢者、学生、社会人において、有志で活動出来る人材発掘も同時に行える仕組み作りが重要になると考えます。

- ・次世代を担う子どもたちにより良い環境を与えられる県を目指してください。

- ・多文化共生社会に真剣に取り組んでいただきたい。

- ・松阪市で実施してください。

- ・一言で言えばありきたりな政策ばかり。しなきゃいけない事ばかり。外国の方々と仕事や暮らすのは中々大変ですよ。文化が元々違うですから。しかしそれで日本の文化や風習を潰されたくは無い。日本で暮らす事のルールなどしっかりと教育はしていただきたい。

- ・今後の事業の活動にもつながる実行性の高い予算の使用に期待します。

- ・青少年に対する保護の必要性から、7,9を選びました。

- ・どのとりくみにおいても、自分の身の上におきた場合、自分ごととして多くの人々に参加・参画してもらえたいことを希望します。

- ・未来ある子どもたちのために、また、地域が元気になるためにお金を使ってください。

- ・子どもが安全・安心でくらしませうように！！

- ・どれも必要に思えてくる事業ですね。また、この事業とこの事業をくっつけたらできるのでは？というものもあつたりました。例えば、防災関係のものをコラボ事業で生き残らせたらいいのに…どれも選び難かったです。

なにより、全国でどこも手をつけていないような課題で、全国でモデルとなるような事業となり、それがそのあとも続くものであれば一番良いと思います。とても悩みました。

- ・リニアつくりたい。

- ・地域・生活の場で近い所の事業を選びました。

- ・広く子供を守る為の事業の推進を望みます。

- ・知ることは活動の第一歩かな、と思います。少しずつ自分も勉強していきたいと思います。

- ・様々な立場にある人が暮らしやすい世の中、暮らしやすい三重県になるように、取り組みを進めてもらいたいです。

- ・どの事業も実施することが目的とならないよう、具体的成果がどのようになったかを県民にフィードバックされたい。

- ・子どもを持つ親としては、9や10のような事業を推進して欲しい。
- ・南北格差の解消について施策をお願いします。
- ・ぜひ実現して下さい！頑張ってください。
- ・大切な子どもたちをネットの悪い危険から守る為の9番と、三重県の発展を願った発信として17番と19番を選びました。
- ・ぜひ実現されることを願いたい。
- ・継続事業となることを望みます。
- ・一過性の事業とならないよう工夫を凝らして取り組んでください。
- ・たくさんの方の意見をきき、スムーズで解りやすい事業展開をしてほしい。
- ・市町に丸投げ、負担となり、催促することのないよう進めてください。
- ・事業効果をきちんと検証してください。
- ・市町ではできない、県でしかできない取り組みになることを期待しています。
- ・多くの県民に広く知られ、継続した取り組みにより、期待される効果が実現されることを願います。
- ・持続可能なものになるよう費用対効果等しっかり検証してください。
- ・どの事業においてもPDCAを行い、継続した取り組みをお願いします。
- ・多くの方の声を聞いて、しっかり効果検証してください。
- ・良い取り組みが持続していけるように、たくさん意見を聞いて進めていってほしいです。
- ・きちんと実施・持続してほしいです。
- ・人口減少社会と超高齢化社会を展望し、現在は存在しない社会の仕組みや技術の進展など未来への想像力をもって人口が減少しても快適で安全な社会を創造する取り組みを県民と協働で実現されたい。
- ・住民の参加意識の盛り上がりを期待する。
- ・短期的ではなく長期的に事業の支援をしてもらいたい。(同様の意見がほか2件)
- ・表裏一体の事業をうまく両立してほしい。
- ・一時的なものではなく長期的に事業を続けてほしい。
- ・住民の意向が反映されることで、興味、関心を持ってもらえると思う。(特に若い人) (同様の意見がほか2件)
- ・一時的なものではなく長期的に事業を続けてほしい。(同様の意見がほか1件)
- ・公共交通に対する必要性、利用促進
- ・11. 今後深刻な問題となってくる。 16. 関係する地域 20. 住民も考えるべき
- ・ふるさとを大切に！
- ・子どもたちの命を守り、安全で安心して暮らせるまちづくり。(同様の意見がほか10件)
- ・次の世代を担う子どもたちの未来を豊かに出来たら良いなと思う。
- ・子どもたちがとにかく安心安全に過ごせるように取り組んで欲しい。
- ・少子高齢化が進む現代、子どもは地域の宝。子どもたちの健全な育ちと安全を守る事に力を入れて欲しい。
- ・未来を担う子供たちを大切にしたい。
- ・南部の豊かな自然保護をお願いします。このままではソーラーパネル国立公園になります。
- ・1番の避難所プロジェクト、2番のペット防災は、本当に大切だと思います。私の地域の市民センターで避難所運営について尋ねたところ、「避難所にどのような人が集まるかわからないので、今は何とも言え

ない」といわれました。これでは、避難する側がとても不安だと思います。もちろんペットのことなども全く考えられておりません。このような状態ではペットの飼い主は避難所に行くことはできません。

- ・とにかく、子供に関する事業を拡大していただきたいです。
- ・貴重な県予算を使うわけで有り、まず本当は県会議員の数を減らし歳費を削減してほしい。先日も別項で言いましたが県会議員の活動に大きく疑問を持っているので。さて、本論ですが三重県民の為に使うのか、特に災害対策、避難プロジェクトは最も優先すべきか、インバウンドも含め観光客の増加に使うのか、そして在県している外国人に使うのか、環境、動物愛護場面に使うのか。
- ・私は子どもについての条例や方針に興味があるため、県の広報やホームページ等で詳しく載せてもらえると嬉しい。その際にわかりやすく書いてあると子どもでも理解できると思う。
- ・特にありませんが、小さい子供が居ないので大人中心の事ばかり考えていることにヒキメを感じている。
- ・これぐらいしかないから。
- ・子供、健康、災害対策に重点を置いて欲しい。
- ・とくに気になる項目がありませんでした。
- ・殺処分ゼロの取り組みと施設でのアニマル治療とを生かす事業なり条例を作ることと子供の早いうちにしっかりと性教育を教えて性被害の対象に成らない為の教育を徹底する昔の教育のように隠したり秘め事教育では間違った興味を持たない教育を三重から発信の価値はあると思います。
- ・特にないが選べないので、適当に選んだ。
- ・子供を巻き込んだイベントを実施していくべき！
- ・災害が増えている昨今、避難生活も他人事では無くなっている。少しでも安全で快適な避難所を考えるのはとても大切だと思う。高齢化が進み、人として求めるのは人との関わりだと思うから、住民同士の支え合いが必要となっている。三重県人なのにまだまだ知らない事ばかり。神話の道事業ステキだと思う。
- ・子供が昨年産まれたので今後の子供に関わる事だと思い選んだ。
- ・子供が犯罪に巻き込まれない、交通事故に巻き込まれないなどの対策を自治会を共同しておこなう必要がある。
- ・最近災害が多く、子供のいじめなどネットがきっかけで自殺する事例が多いので、警鐘を鳴らす意味でもぜひ。
- ・ハードを作るだけでなくソフト（実際の運用）も一緒に考えるようにしないと仏作って魂入れず状態になります。
- ・インターネット、SNSには気を付けたい。またガンや、災害対策は重要だ。
- ・それぞれの市で、参加できるイベントを開催してほしい。
- ・最大3個までですが、まだまだ他にも実現してほしいものがありました。タイトルを見ただけで、とても魅力的な内容に思えます。特に、防災に関して、本気で、地域ごとに住民が意識を持って取り組める何かの事業は必要だと思います。こういう取り組みの有無の違いで、大震災時の生命の生存率や困難に直面したときの乗り越えようという底力が発揮されるかどうかにまで、大きな差が生まれることを東日本大震災の際にみせつけられました。是非、地域が一体となれるような工夫を凝らしたうえで、被災したときに、あの事業があったおかげで、本当に助かった、というものを実現していただきたいです。選択した3つ以外に、いいと思ったもの。2、3、10、14
- ・子供が増えることを基本に考えました。
- ・天災・子育て・長寿に向けた健康維持は待ったなしの課題であり、多方面からの予算を獲得して事業推

進を図ってほしい。

・地震、津波が心配です。今は、車を運転しているが、高齢者の交通事故を思うと、今後どの様な交通手段が可能なのか知りたいです。

注) 複数の事業に対するご意見については、「その他のご意見」に記載しています。